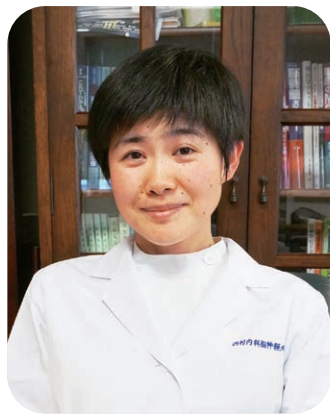




内科

ギザギザした光が突如現れ、 やがて消える“閃輝暗点”とは？

せんきあんてん



西村内科脳神経外科病院
白川 祐美先生

見えるはずのないギザギザした光が突然現れる「閃輝暗点」。頭痛持ちの人に症状が起きやすいことでも知られています。中高年の場合、ごく稀に脳の病気が潜んでいることも。西村内科脳神経外科病院の白川先生にお話を伺いました。

白川 なぜか目の前にギザギザした光や火花のよくなチカチカが見えて、いつの間にか消える…。

こんな経験はありませんか？ これは閃輝暗点と言います。偏頭痛という血管性の頭痛を持つ人にこの症状が起きやすいときれ

ています。目を閉じていても光が見えますが、長くて20〜30分で元に戻ります。

— このような現象が起るのには、どうしてなのでしょう？
白川 視力をつかさどる部分の脳に何らかの血流

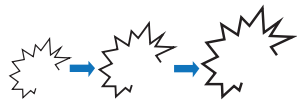
異常が起ると、本当に見えないギザギザ・チカチカする光が見えたり、血管が広がる時に神経が刺激されて偏頭痛が起ります。

頻度が増える、長時間続いたら、脳の血管に何かが起っている可能性も

— 放っておいても大丈夫なんでしょうか？
白川 閃輝暗点や偏頭痛があっても、元気で何もなない人がほとんどです。しかし、その頻度が増えたり、長い時間症状が続く場合などは、要注意



このようなギザギザした光の波が広がっていきます（両目に出現するのも特徴です）



時間の経過とともに徐々に拡大していきます

のも特徴です。両目の片側だけに起ることはありますが、片目だけに起ることはありません。もし発作があったら、試しに片目ずつで見てみましょう。片目だけに起る時は、閃輝暗点に似た別の病気で、目の問題や目に栄養を送っている血管の異常によることがあります。失明や脳梗塞などの病気がスクエをほまで迫ってきているかもしれません。かかりつけ医や眼科、脳神経系の医療機関に相談ください。